

ぐんま の砂防

Vol.21

2024年（令和6年）3月



（前橋市の粕川105砂防堰堤のドローン点検）



「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」(絵画部門) 最優秀賞(群馬県知事賞)
「早めの行動守れる命」 高崎市立第一中学校1年 大西 尚さん

INDEX

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| ●会長あいさつ、事業内容、役員名簿 …… 1 | ●土砂災害ソフト対策の推進 …… 7 |
| ●群馬県治水砂防協会の活動 …… 2 | ●土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール開催 …… 10 |
| ●砂防施設の整備状況 …… 4 | ●群馬県砂防ボランティア協会の活動 …… 11 |
| ●土砂災害ハード・長寿命化対策の紹介 …… 5 | ●あとがき …… 11 |



会員の皆様におかれましては、日頃より、当協会の運営につきまして格別な御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、元日に令和6年能登半島地震が発生し、石川県能登半島を中心に広範囲に渡り甚大な被害をもたらしました。被災地では多くの方々が避難生活を余儀なくされています。今後は国における適切な支援措置が迅速に行われるよう切望しております。

近年本県では、大きな地震の被害はありませんが、今回の地震では、地形が急峻な地域でがけ崩れなどの土砂災害が同時多発的に発生し、人家や道路・河川などが多大な被害を受けております。

あらためて、犠牲になられた多くの方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。併せて被災地が一日も早く復興されますよう心よりお祈り申し上げます。

また、全国では、毎年多くの土砂災害が発生しており、令和5年においても1,471件の土砂災害が発生し、死者8名、負傷者19名、人家262戸という被害が生じています。

これらの頻発する土砂災害にしっかりと対応するために、群馬県では、「新・群馬県総合計画」における「災害レジリエンスNo.1の実現」を達成するため、県土整備分野の最上位計画である「ぐんま・県土整備プラン2020」や、砂防分野の個別計画「土砂災害対策推進計画2021」を策定し、防災インフラの整備や土砂災害における「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進等のハード・ソフトが一体となった土砂災害対策を推進しています。

土砂災害から県民の生命や財産を守るため、防災・減災対策が広く求められている中で、当協会といたしましては、治水砂防事業の一層の推進が図られるよう、これからも国や県に対して、砂防関係事業予算の確保を強く要望し、「災害に強い県土づくり」に寄与してまいりますので、今後とも、格別の御指導、御協力を賜りますようお願いいたします。

群馬県治水砂防協会会長 安中市長 岩井 均

●令和5年度の主な事業内容

年 月 日	場所	主催	活動内容
5月23日	県議会会議室	群治水	群馬県治水砂防協会会計監査・三役会
5月25日	砂防会館(東京)	全治水	全国治水砂防協会通常総会
6月1～30日	県内各地	国土交通省	土砂災害防止月間
7月13日	県商工連会館	群治水	群馬県治水砂防協会役員会及び通常総会
8月4日	砂防会館(東京)	全治水	第10回土砂災害対策実務者講習会
10月19日	栃木県日光市足尾町	群治水	砂防事業の県外視察研修
10月26日	国土交通省(東京)	群治水	国土交通省砂防部長への要望活動
10月28日	県庁ビクターセンター	群治水	土砂災害に関する絵画・作文コンクール表彰式
11月1～2日	埼玉県秩父市	全治水関東甲地区協議会	関東甲地区協議会通常総会・支部長会議
11月16日	砂防会館(東京) 議員会館(東京)	全治水 群治水	全国治水砂防促進大会 県選出国会議員への要望活動
2月15～16日	砂防会館(東京)	全治水	第64回砂防および地すべり防止講習会
3月		群治水	「ぐんまの砂防」Vol.21発行

※ 全治水=(一社)全国治水砂防協会、群治水=群馬県治水砂防協会

●令和5年度 群馬県治水砂防協会役員名簿

役職名	現職名	氏名
会 長	安 中 市 長	岩 井 均
副 会 長	県 議 会 議 員	星 名 建 市
副 会 長	桐 生 市 長	荒 木 恵 司
副 会 長	甘 楽 町 長	茂 原 莊 一
監 事	県 議 会 議 員	金 井 康 夫
監 事	嬭 恋 村 長	熊 川 栄
委 員	前 橋 市 長	山 本 龍
委 員	高 崎 市 長	富 岡 賢 治
委 員	沼 田 市 長	星 野 稔
委 員	渋 川 市 長	高 木 勉
委 員	藤 岡 市 長	新 井 雅 博
委 員	富 岡 市 長	榎 本 義 法
委 員	み どり 市 長	須 藤 昭 男
委 員	神 流 町 長	田 村 利 男
委 員	東 吾 妻 町 長	中 澤 恒 喜
委 員	川 場 村 長	外 山 京 太 郎

(令和6年1月現在)

群馬県治水砂防協会の活動



全国治水砂防協会「第87回通常総会」への出席

令和5年5月25日に東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて、全国治水砂防協会第87回通常総会が開催されました。全国から会員等1,000名超が出席し、本県からは、岩井会長、熊川監事をはじめ会員町村長等13名が出席しました。

議事では、令和4年度事業報告及び収支決算審議並びに公益目的支出計画実施報告、令和5年度事業計画報告及び収支予算報告、役員選任審議が行われ、審議案件は原案どおり全会一致で承認されました。

続いて、国土交通省の三上砂防部長から「被災地の近況とこれからの砂防」と題した講演が行われました。



【会場の様子】



群馬県治水砂防協会通常総会及び講演会の開催

令和5年7月13日に群馬県商工連会館において、令和5年度通常総会が会員市町村長等26名の出席のもと開催されました。津久井副知事、安孫子群馬県議会議長、草野国土交通省砂防部長、岡本(一社)全国治水砂防協会副会長にご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。

総会では、令和4年度事業報告・収支決算報告、令和5年度事業計画案・収支予算案等が原案どおり可決・承認されました。また、岸監事の勇退に伴い、新監事に金井康夫県議が選任されました。

通常総会終了後、草野砂防部長に「『いのち』と『くらし』と『みどり』を守る砂防」と題し、また、(一社)全国治水砂防協会の岡本副会長から「砂防についての話題」と題してご講演いただき、会員市町村長ほか多くの市町村職員等が聴講しました。



【会場の様子】



【岩井会長】



現地視察研修の実施

令和5年10月19日に岩井会長をはじめ市町村及び県の土木事務所等の職員17名が参加し、砂防に関する知識及び技術の向上、砂防事業の促進を図ることを目的に、栃木県日光市の旧足尾銅山周辺の足尾砂防堰堤及び松木山腹工(体験植樹)等の砂防事業の視察研修を実施しました。

当日は、国土交通省渡良瀬川河川事務所及びNPO法人足尾に緑を育てる会の皆さんに説明及び体験植樹のご指導をいただきながら、事業への理解を深めました。

足尾砂防堰堤は、足尾銅山の煙害と山火事により山容の悪化と台風による土砂災害に見舞われた渡良瀬川流域に計画され、昭和60年に完成した国内最大規模(計画貯砂量500万m³)の砂防堰堤です。



【足尾砂防堰堤】



【参加者】



【体験植樹の様子】



国土交通省砂防部長への要望活動の実施

令和5年10月26日に国土交通省において、小淵優子衆議院議員にご同席いただき、岩井会長及び金井監事が草野砂防部長へ要望活動を行いました。



【草野砂防部長】



【意見交換の様子】



全国治水砂防協会関東甲地区協議会通常総会への出席

令和5年11月1日～2日に埼玉県秩父市のホテルルートインGrand秩父において、令和5年度全国治水砂防協会関東甲地区協議会通常総会が開催され、岩井会長等4名が出席しました。初日の総会では、令和4年度事業報告・収支決算報告、令和5年度事業計画案・収支予算案が原案どおり可決・承認されました。

総会後に開催された会長(支部長)会議では、国土交通省砂防部の草野砂防部長と(一社)全国治水砂防協会の岡本副会長から講演が行われました。

翌日は、秩父ミューズパークにおける災害復旧工事現場を視察しました。



【会場の様子】



【災害復旧工事現場】



「全国治水砂防促進大会」への参加及び要望活動の実施

令和5年11月16日に砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて、「全国治水砂防促進大会」が開催されました。全国から会員等約1,600名が出席し、本県からは茂原副会長をはじめ市町村長等15名が参加しました。

開会に先立ち、牛山素行静岡大学教授による「洪水・土砂災害は起こりうることを、起こりうる場所で」と題した講演が行われました。

促進大会では、草野砂防部長から「『いのち』と『くらし』と『みどり』を守る砂防」と題した講演が行われ、その後、林裕二福岡県朝倉市長と今井 敦長野県茅野市長から意見発表が行われました。最後に、大会提言が満場一致で採択されました。

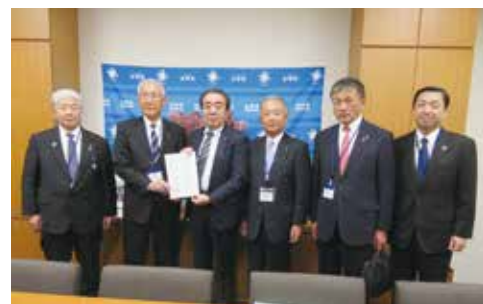
大会終了後、町村長等が県選出国會議員へ要望活動を行いました。



【会場の様子】



【小淵衆議院議員】



【福重衆議院議員】



赤木顕功賞の受賞

令和6年2月15日に砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて、赤木正雄博士の偉業を追慕し、永久に称えるものとして、砂防事業の発展に功績のあった者に贈られる赤木正雄顕彰の授与式が行われました。

本県からは、群馬県砂防課長や群馬県砂防ボランティア協会長を務めた中村達氏が赤木顕功賞を受賞されました。

赤木顕功賞は、砂防行政の推進及び砂防技術の向上に多大な功績があった者に贈られる賞です。



【中村 達氏】

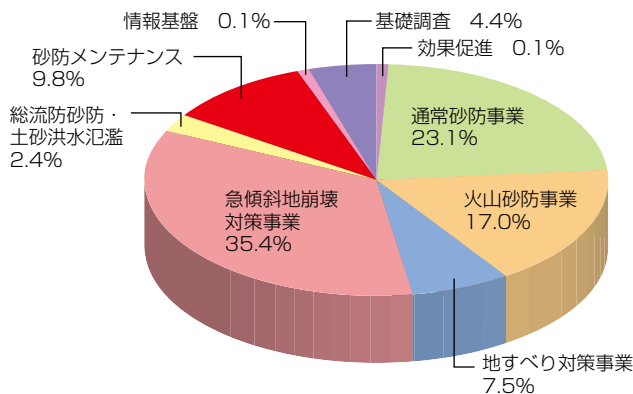
砂防施設の整備状況

令和5年度 砂防関係公共事業予算総額 7,061百万円(2月補正後)

単位：百万円

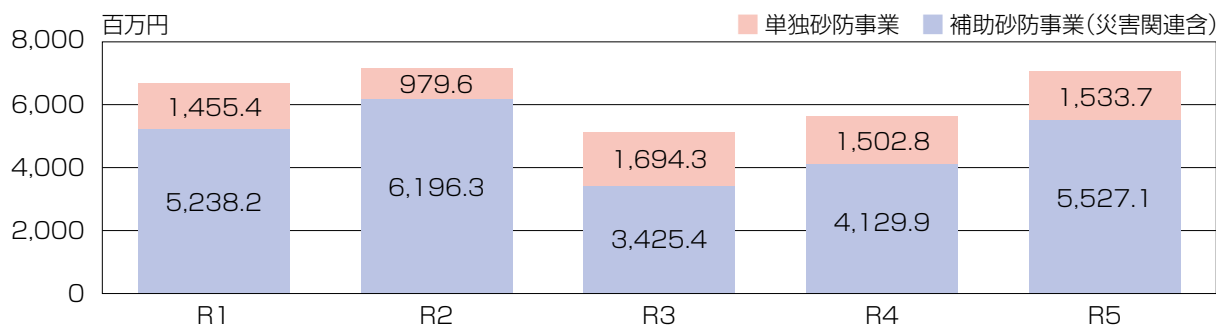
砂防関係公共事業予算内訳	
事業名	予算額
単独砂防施設	378
単独砂防維持管理	873
緊急防災・減災対策	283
補助事業及び社会資本総合整備事業	5,527
計	7,061

補助事業及び社会資本総合整備事業の内訳



※事務費等除く。※交付申請時点の事業区分で集計。

砂防事業費の推移



※各年度最終現年度予算額、R5は2月補正後の金額

砂防指定地等の指定・対策工事完成状況(令和5年12月28日現在)

1. 砂防指定地

区分	砂防指定地 (渓流数)	砂防指定地 (箇所数)	急傾斜地 崩壊危険区域	地すべり 防止区域
県	954	1,914	677	69
直轄	147	415	—	—
計	1,101	2,329	677	69

4. 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)

警戒区域 箇所数A	うち人家5戸以上		左記のうち完成	
	箇所数B	率B/A	箇所数C	率C/B
5,870	1,204	20.5%	563	46.8%

2. 土砂災害警戒区域(土石流)

警戒区域 箇所数A	うち人家5戸以上		左記のうち完成	
	箇所数B	率B/A	箇所数C	率C/B
2,858	1,256	43.9%	288	22.9%

5. 雪崩危険箇所

危険箇所 A	完成	
	箇所数B	率B/A
450	6	1.3%

3. 土砂災害警戒区域(地すべり)

警戒区域 箇所数A	うち人家5戸以上		左記のうち完成	
	箇所数B	率B/A	箇所数C	率C/B
344	239	69.5%	61	25.5%

土砂災害ハード・長寿命化対策の紹介

土砂災害対策推進計画2021 ～災害レジリエンスNo.1の実現に向けた土砂災害対策の更なる加速～

土砂災害対策推進計画とは

土石流やがけ崩れなどの土砂災害から県民の生命と財産を守るため、ハザードマップや避難計画の作成などの警戒避難体制構築の支援(ソフト対策)と砂防えん堤やがけ崩れ防止施設などの施設整備(ハード対策)を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の個別基本計画です。

ハード対策

方針 土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備

取組1 自力避難が困難な要配慮者の安全確保

効果 令和6年度までに要配慮者利用施設45施設の土砂災害リスクを軽減

取組2 異常気象時の安全な避難場所の確保

効果 令和6年度までに地域防災計画上の避難所64施設の土砂災害リスクを軽減

取組3 著しい被害が生じるおそれのある区域の安全確保

効果 令和11年度までにレッドゾーン内の人家約600戸の土砂災害リスクを軽減

取組4 多くの人家に被害が生じるおそれのある区域の安全確保

効果 令和11年度までにイエローゾーン内の人家約3000戸の土砂災害リスクを軽減

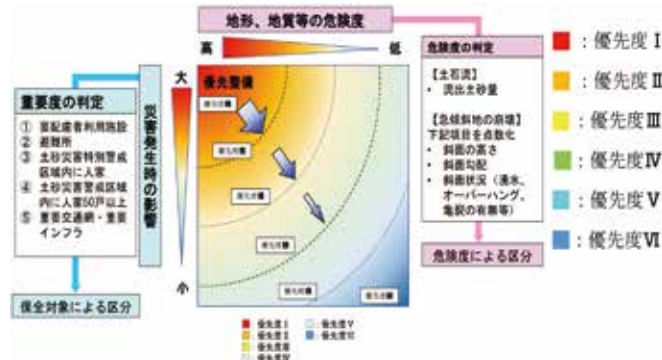
取組5 重要交通網の寸断防止

効果 防災拠点集積エリア同士を結ぶ交通網の土砂災害による寸断リスクを軽減

計画期間 令和3年度～令和11年度の9年間

ハード対策箇所の選定

一次選定のイメージ



評価結果

R11までの対策予定箇所 146箇所 (箇所)

土石流対策+がけ崩れ対策		危険度による区分			合計
		a	b	C	
保全対象による区分	要配慮者利用施設・避難所	Aa(5)	Ab(42)	Ac(28)	75
	特別警戒区域内人家10戸以上	Ba(4)	Bb(4)	Bc(5)	13
	特別警戒区域内人家5戸以上	Ca(11)	Cb(18)	Cc(14)	43
	警戒区域内人家50戸以上	Da(1)	Db(14)	Dc(0)	15
	重要交通網・重要インフラ	Ea(10)	Eb(143)	Ec(41)	194
合計		31	221	88	340

群馬県砂防関係施設長寿命化計画2022

砂防関係施設長寿命化計画とは

土砂災害から県民の命と財産を守るため、既存の砂防関係施設の必要な機能を長期にわたって安全に使用し続けることを目的に、維持管理・更新に要するトータルコストの縮減と予算の平準化を図るよう定めた県土整備分野の個別基本計画です。

施設現状 令和4年3月

砂防関係施設	施設数	健全度A	健全度B	健全度C
砂防設備	2,883	1,075	1,681	130
急傾斜地崩壊防止施設	639	255	350	34
地すべり防止施設	68	19	13	36
雪崩防止施設	6	2	3	1
合計	3,596	1,351	2,047	201

健全度A：対策不要 健全度B：経過観察 健全度C：要対策

課題1 施設の老朽化

健全度の低下や新たな被災により、健全度Cの要対策箇所が多数確認されています。

課題2 進む担い手不足

就業者数の減少により技術者の確保困難と人件費の増大より、業界への負担と財政の圧迫が増大しています。

課題3 膨大で複雑なデータベース

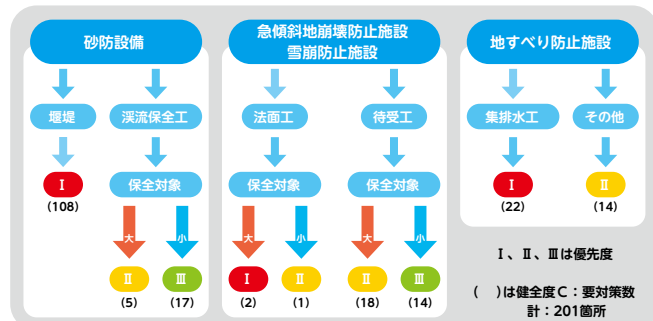
工事後、点検後、対策後のデータなどの既存のデータベースが複雑で活用しにくい状況です。

計画期間 令和4年度～令和53年度の50年間

維持管理計画 令和4年度～令和11年度の8年間

対策1 計画的な長寿命化対策の推進

維持管理・更新に要するトータルコストの縮減と予算の平準化及び優先順位の見直しにより効率的に対策を行います。



対策2 持続可能な点検計画による生産性向上

点検頻度の見直し・適正化や新技術(ドローン等)の導入により、点検作業の生産性を向上させます。

対策3 管理データの一元化

データの確実な蓄積や管理方法のルール化により、データ精度を向上させる。また、県土整備部として一元管理することでデータの利便性を向上させます。

通常砂防事業 『^{ひがしの いりさわ}東ノ入沢』(桐生市菱町二丁目地先)

R5完成

全体事業費：500百万円

保全対象：人家151戸、県道等

事業概要：砂防えん堤工(透過型) H=11.5m L=72.0m



着工前



完成

急傾斜地崩壊対策事業 『^{たかと や おいがみ}高戸谷(老神1)地区』(沼田市利根町高戸谷地内)

R5完成

全体事業費：232百万円

保全対象：人家10戸、国道120号

事業概要：擁壁工 L=278.0m



着工前



完成

砂防メンテナンス事業 『^{あいざわがわ}相沢川』(甘楽郡下仁田町南野牧地先)

R5完成

全体事業費：220百万円

事業概要：砂防えん堤改築工 H=7.0m L=50.0m

施設概要：昭和56年設置



着工前



完成

土砂災害ソフト対策の推進

① 土砂災害警戒区域等の指定

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(通称 土砂災害防止法)」は、土砂災害から住民の生命・身体を守ることを目的に、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や一定の行為の制限を行うもので、平成12年度に制定されました。

◆ これらの場所が指定の対象になります

がけ崩れ



雨や雪融け水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象

土石流



山や川の石や土砂が大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象

地すべり



雨や雪融け水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象

土砂災害警戒区域(住民の生命・身体に危害が生じる恐れがある区域)では



災害情報の伝達や避難が早くできるように、市町村によって警戒避難体制の整備が図られます。

さらに土砂災害特別警戒区域では

(建物が破壊され、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域)



住宅宅地分譲などのための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。



想定される土砂災害の衝撃に対して、建築物の構造が安全であるか建築確認がされます。



著しい損壊が生じるおそれがある建築物に対して移動勧告がされる可能性があります。

- ・平成26年10月14日 群馬県の初回指定が完了しました。
- ・令和6年3月1日時点、群馬県内で、土砂災害警戒区域9,072区域(うち特別警戒区域8,082区域)を指定しています。
- ・令和3年度から高精度な地形図を用いた砂防基礎調査を実施し、地形の改変・施設整備等による区域の見直し中です。

◆ 土砂災害警戒区域等をインターネットで確認することができます

群馬県が提供する統合型地理情報システム「マッピングぐんま」にて、土砂災害警戒区域等の区域を地図上で確認することができます。

マッピングぐんま
で検索

マッピングぐんま

検索



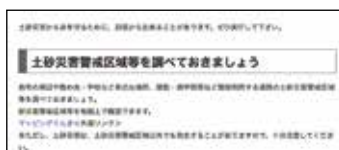
「マッピングぐんま」トップページ



表示された土砂災害警戒区域



土砂災害から身を守るために「日頃からの備え」や、「避難時の注意点」などを県HPへ掲載しました。



② 「住民主体の土砂災害警戒避難体制構築」の推進

◆ 「住民主体の土砂災害警戒避難体制構築」の取組とは

土砂災害による犠牲者を無くすためには、施設整備などのハード対策と併せて警戒避難体制の整備などを行うソフト対策が重要です。群馬県ではこうした取り組みの一環として、「住民主体の土砂災害警戒避難体制構築の取組」を実施する市町村や自治会の支援をしています。この取組は、住民懇談会を開催し、その地域独自の自主避難ルールを作成し、作成した自主避難ルールに基づき避難訓練を行います。



③ 群馬県土砂災害警戒情報(危険度情報)の発信と利用普及啓発

群馬県内の土砂災害警戒情報発表状況や、1 kmメッシュでの土砂災害発生の危険度をパソコンとスマートフォンから確認できます。

- ◆ パソコン https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/
- ◆ スマートフォン <https://www.dosya-gunma.jp/sp/>



パソコン

言語の切替え機能により、多言語対応となります。

危険度情報(雨量情報)をスライドショー形式で確認できます。

スマートフォン

「土砂災害危険度」と「雨量情報」を切り替えて見ることができます。

危険度情報が12時間前～現在まで表示できます。

土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール開催

国土交通省と各都道府県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害に対する住民の理解と関心を深めるために、小中学生の皆様から「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集しています。

令和5年度は、群馬県で絵画112点、作文48点の応募があり、下の表の13作品が入賞し、最優秀賞及び優秀賞の作品の一部を国土交通省中央審査委員会へ推薦しました。

全国では、絵画2,468点、作文1,200点の応募があり、群馬県から中学生作文の部で1点の作品が国土交通事務次官賞を受賞しました。

ご応募いただいたことに感謝しますとともに、受賞された皆様にお喜びを申し上げます。

受賞者一覧(敬称略)

絵画の部

小学生	最優秀賞	飯野 亜希	高崎市立中室田小学校	5年
	優秀賞	原 悠陽	高崎市立中室田小学校	5年

中学生	最優秀賞	大西 尚	高崎市立第一中学校	1年
	最優秀賞	田中 遼一	高崎市立第一中学校	1年
	優秀賞	高山宗一郎	高崎市立片岡中学校	1年

○最優秀賞（群馬県知事賞）

○優秀賞（群馬県治水砂防協会会長賞）

○奨励賞（群馬県砂防課長賞）

作文の部

小学生	最優秀賞	萩原 煌和	渋川市立三原田小学校	6年
	優秀賞	堤 永光	渋川市立三原田小学校	5年

中学生	最優秀賞	岩田 志保	渋川市立渋川北中学校	2年
	優秀賞	狩野 葵	渋川市立渋川北中学校	2年
	優秀賞	井口 紗那	渋川市立渋川北中学校	2年
	奨励賞	尾池 聖成	渋川市立渋川北中学校	2年
	奨励賞	鈴木 愛理	渋川市立渋川北中学校	2年
	奨励賞	爲谷 樹	渋川市立渋川北中学校	2年

国土交通事務次官賞

中学生作文の部	岩田 志保	渋川市立渋川北中学校	2年
---------	-------	------------	----

※各受賞作品につきましては、群馬県ホームページの砂防課のページに掲載していますので、是非ご覧ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/613427.html>



絵画部門

最優秀賞(群馬県知事賞) 受賞作品



「早めにひなん！」

高崎市立中室田小学校 5年
飯野 亜希 さん

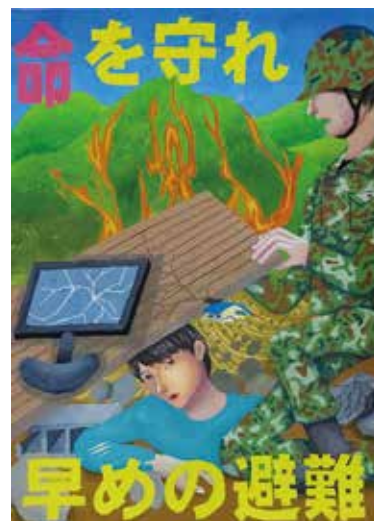
最優秀賞(群馬県知事賞) 受賞作品



「早めの行動守れる命」

高崎市立第一中学校 1年
大西 尚 さん

最優秀賞(群馬県知事賞) 受賞作品



「命を守れ早めの避難」

高崎市立第一中学校 1年
田中 遼一 さん

群馬県砂防ボランティア協会の活動

群馬県砂防ボランティア協会では、土砂災害から県民の生命や財産を守るため、砂防施設や土砂災害危険区域の点検等のボランティア活動を実施しています。

令和5年11月1日から県内各地域の砂防施設の定期点検等を実施しました。この点検結果に基づき各土木事務所で対策を行いました。

点検日	調査区域	参加者	溪流名／斜面名	点検結果
11月1日	東毛地区 (桐生土木事務所管内)	7人	加茂入沢1溪流外9溪流	・立入防止用ネットフェンス損傷を指摘 ・砂防堰堤表示看板の劣化を指摘 等
11月1日	吾妻地区 (中之条土木事務所管内)	7人	蛇塚沢外5溪流 中組4地区急傾斜地崩壊 危険区域外2斜面	・砂防指定地標識の劣化を指摘 ・砂防指定地標柱の転倒を指摘 ・侵入防止柵の必要性の検討を提案 等 ・工事名板の劣化を指摘 ・指定地標識の劣化を指摘
11月1日	利根沼田地区 (沼田土木事務所管内)	8人	前入沢外2溪流	・砂防指定地標識の劣化を指摘 ・流路工等内での立木や雑草の繁茂による 正常な流水機能の阻害を指摘 等
11月15日	西毛地区 (藤岡土木事務所管内)	6人	坂本地すべり防止区域 外2斜面	・ブロック積のクラックを指摘 ・排水管の詰まりを指摘 等

【定期点検の様子】



あ と が き

近年頻発する土砂災害にしっかりと対応するためには、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策をこれまで以上に加速させる必要があります。

砂防課では、「土砂災害対策推進計画2021」を令和3年3月に策定し、土砂災害防止施設の整備を重点的かつ計画的に実施するとともに、土砂災害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進に努めています。

特に、令和4年度から公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」を活用し、スマートフォン上で行う「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」を実施しており、この取組は、都道府県が運営する公式LINEアカウントを活用した全国初の試みであり、令和4年6月から配信を開始したところ、訓練参加回数が23万回を超えるなど、多くの反響をいただいています。

土砂災害から犠牲者を無くすには、「行政側の知らせる努力と住民側の知る努力が不可欠」と言われています。気象災害が激甚化・頻発化している中、県民の生命・財産を守るため、引き続き国、市町村などの関係機関と連携し、様々な土砂災害対策に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月

群馬県県土整備部砂防課長(群馬県治水砂防協会常任幹事) 石坂 聡

編集・発行 ■ 群馬県治水砂防協会(群馬県県土整備部砂防課内)

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

TEL 027-226-3631